

平成 29 年度  
公益社団法人岡山県医師会事業計画

平成 29 年 4 月

公益社団法人岡山県医師会

# 目 次

平成29年度事業計画大綱 .....	2
[ I ] 医療社会活動・教育事業（公1） .....	4
[ II ] 医療情報対策事業（公2） .....	17
[ III ] 公益関係機関助成事業（公3） .....	20
[ IV ] 貸室事業（収1） .....	21
[ V ] 会員福祉対策事業（他1） .....	21
[ VI ] 管理部門 .....	23

# 平成29年度事業計画

## 大 綱

昨年6月開催の、定例総会以降、公益社団法人岡山県医師会として3期目がスタートした。役員改選が行われ、執行部陣容も一部刷新されて平成28、29年度の任期を全うすることになった。そして本年度はその後期1年に入るが、平成29年度国家予算における社会保障費は自然増上乗せに見合わず、1,400億円の財源がカットされた。一方、海外でのトランプ米大統領の排他的経済政策や英国のEU離脱なども負の連鎖となり、日本経済に少なからず影響を及ぼすことは必至であろう。

この様な厳しい環境を背景に、今年度、岡山県医師会は以下に示すマニフェストに沿った会務及び事業方針に従って医師会活動を展開して参る所存である。具体的な医師会活動としては…

### ①岡山県医師会館の多角的・機能的活用の拡大

新会館はその立地条件の利便性、諸機能の高度化及び充実により、既に岡山県の医療・保健・福祉の拠点として会員はもとより、関連他職種等に従来に増して寄与できていると自負している。事実、本会主催の各種委員会、講習会への参加数は目に見えて増加している。

今後、医療・保健・福祉関連事業を中心に医療関係者のみならず、県民の来館利用を促し、更なる進展に繋げられるものと信念の下、改めて諸会務を再スタートさせたい。又、旧岡山衛生会館の解体と整地はほぼ終了し、積水ハウス株式会社との売買完了が大詰めを迎えている。

### ②第8次岡山県保健医療計画と地域包括ケアシステムの有効的実践

第7次岡山県保健医療計画に沿って、昨年4月より岡山県の保健・医療・福祉事業を展開しているが、この計画は平成28、29年度2年間の短期計画で、今期は平成30年度からの施行を目指して第8次岡山県保健医療計画の策定に入る。何と云っても地域医療構想～目指すべき医療提供体制の構築～を本会の重点的会務として、地域包括ケア部会を中心に、計画に沿った実践に2次医療圏単位で開催されている調整会議の協議内容を基軸に、所属する各地域医師会に対し支援に当たっていききたい。

特にがん患者・家族への在宅支援、又、認知症患者・家族への在宅支援の実践に向けて率先して協力していきたい。この為、日医の方針や診療報酬に反映される「かかりつけ医機能の強化対策」にも呼応して研修会開催等を充実させていく。

### ③「理事会の体制検討委員会」設置による新体制への模索

近年、県医師会活動への参画、即ち理事等役員への参入希望者が手薄の状況にある。従って、執行部の高齢化が進んでおり、将来の医師会運営がマンパワーの面で危惧されている。役職を回避される理由として、医師会役員としての活動への負担感が大きな要因と推測されている。既に標記初回委員会で会長諮問「岡山県医師会の活性化、業務執行の効率化、意思決定の迅速化等を図るため、適切な体制を検討されたい」が既に提出され、検討に入っている。この検討会からの答申を受け、体制確立に向かって始動する所存である。

④公益事業の拡大…現存対象事業の拡大を心掛ける。地域医療支援センター運営事業、地域の医師との協働による救急医療等の対応向上事業（小児救急地域医師研修事業）、女性医師等就労支援事業並びに医療環境改善支援等がこの範疇に入ってくる。患者の漸増が続いている糖尿病対策、CKD対策事業の拡大も県民公開講座を含め県民への周知・啓発を活発に推進していく。

国際的にはミャンマーにおける救急医療資質向上を目的とし、岡山大学・川崎医大の救急医療部と協働で行っているが、本年度も経済的支援を部分的に行っていきたい。又、今年度より新たにミャンマー医学生と岡山大学医学生との学術交流も支援していきたい。

#### ⑤かかりつけ医研修制度の推進強化

専門性、診療の領域、診療の場を超えた「かかりつけ医」の役割が、住民の様々なニーズに合致し、医療制度を支える大きな柱になっている現在、昨年4月から「日医かかりつけ医機能研修制度」が開始されたが、本会では平成27年度より、既に本制度をスタートさせていて、約300名の会員が修了証を取得している。引き続き本研修制度を推進し、全臨床科の会員が修了書を取得し、地域包括診療加算条件、平成28年度は見送られましたが厚労省が画策している「かかりつけ医以外の受診時定額負担制度」が万一実施された場合への備えにもなり得ることに鑑み、更に多くの会員に対し、幅広い分野の医学的研鑽が可能であるよう開催を促進していく。

#### ⑥トレンドな研修会並びに保険診療上の義務的受講に関わる研修会の積極的開催

前者には高齢者の健康づくり「フレイル予防」やその要因ともなるサルコペニア、ロコモ等の研修会、これらは要介護化への防止に必須であるし、認知症対策に欠かせない「かかりつけ医認知症対応力向上研修会」、「認知症サポート医研修」など挙げられる。後者は「緩和ケア研修会」、「認定かかりつけ医研修会」等が挙げられ、これらは保険診療報酬に直接関わる、いわゆる修了証取得講座として定期的開催の推進に努めていく。

#### ⑦「ストレスチェック制度」の推進並びに「治療と職業生活の両立支援」への参入

ストレスチェック制度については現在、本会産業医が委嘱されている事業場において一昨年12月より実施されている。現在の処、高ストレス労働者は予想されたよりは少人数だが、面接指導に関しては時間的に又、該当労働者のフォロー対策等、産業医の負担は増加している。未だ本会産業医部会が直接関与する事案は発生していないが、今後対応が予測される制度実施に関わる外部委託問題、特に面接指導における諸課題に対処するための組織を更に充実させていきたい。又、治療と職業生活の両立支援は既に厚労省ガイドラインに沿って始動しているが、主治医並びに嘱託産業医の協働により推進をバックアップしていきたい。

この他、軌道に乗ってきた厚労省所轄「事故調査制度」の更なる推進、災害時備蓄も準備され、JMAT活動対応の中枢を担う「岡山県医師会救急医療対策部会」も常時機動性を発揮できる体制を維持させていきたい。

#### ⑧消費税10%増税時対応について

医療の控除対象外消費税問題の抜本的解決に向けては、平成28年度税制改正大綱に「平成29年度税制改正に際し結論を得る」と、初めて解決の年限がはっきり書き込まれたが、昨年12月に決定した大綱には「消費税率が10%に引き上げられるまでに…総合的に検討し、結論を得る」と記載され、些かトーンダウンした。今後、更なるトーンダウンを回避できるよう都道府県議会議員・国会議員・知事への都道府県医師会からの働き掛けが必須である。今後も頻回開催されるであろう都道府県医師会税制担当理事連絡協議会での協議内容を踏まえ対処していきたい。

以上、拡大傾向が続く会内、会外事業また医政活動に執行部一丸となって執行に全力を傾注して参ります。更に岡山県行政との連携、岡山県四師会との協働ほか医療介護関連他業種との連携構築も益々求められており、これらに呼応して前進して参りたい。

## [ I ] 医療社会活動・教育事業（公1）

### 1. 生涯教育に関する事項

#### (1) 日本医師会生涯教育制度

○講習会への出席率の向上と偏りのない自己学習推進を目指す。

カリキュラムコードの利用率、出席率を検討する

○本会ホームページの「生涯教育講座申請システム」を活用し、申請のIT化率を現在の80%程度から82%程度に上げる。

○県内各地において年間800回以上の本会認定生涯教育講座を開催する。

#### (2) 日医生涯教育講座の開催

各担当理事と協力して日医生涯教育講座を開催し、産業医研修会との合同研修会を開催する。引き続き、勤務医部会と共同して講演テーマを検討選択したい。

出席率の向上を目指して会報、ホームページでの広報に力を入れ、また、託児申込書を案内に必ず添付し、託児サービスの周知を図る。

医師会員のみならず、医療関係者に広く公開する。

#### (3) 岡山県の臨床研修指定病院との共催で岡山県医師会臨床研修指導医養成講習会を開催する。

#### (4) 郡市等医師会生涯教育担当理事連絡協議会の開催

#### (5) 岡山県医師会学術奨励賞並びに岡山県医師会会長賞の選考と授与

#### (6) 岡山済生会総合病院等、主たる病院の卒後臨床研修運営管理委員会に担当理事を派遣する。

#### (7) NPO法人岡山医師研修支援機構、岡山大学地域医療人材育成講座と連携して岡山県下の卒前、卒後研修について岡山県の医療人の育成に貢献する。

#### (8) 県民公開講座（糖尿病・CKD）

#### (9) 緩和ケア研修事業

緩和ケア研修会の開催 年1回

緩和ケアフォローアップ研修会 年1回

### 2. 部会委員会活動に関する事項

#### I 専門医部会

##### (1) 外科部会

① 岡山県医師会外科部会委員会並びに講演会（年4回）を開催する。

② 岡山県外科医会の活動を支援する。

③ 日本臨床外科学会岡山支部の活動に積極的に協力する。

##### (2) 眼科部会

① 専門医会（年3回開催）

地域医療（目の愛護デー行事、財団法人岡山県アイバンク賛助会に協力）

学校保健（学校検診のあり方）

医事対策（医療倫理の確立、医療事故防止）

健保問題（審査委員連絡会、審査委員健保担当理事連絡会）

医療教育（岡山県眼科スタッフ教育講習会の開催）

広 報（会報の発行）

会員福祉（勤務医部会 コンタクトレンズ販売管理者継続的研修・女医部会）

② 医学研修

1) 生涯教育講座（年3回）

平成29年7月23日 平成29年11月26日 平成30年2月25日

2) 岡山眼科フォーラム（年1回） 前眼部疾患研究会（年1回）

眼科アップデートセミナー in 岡山2017（年1回）

岡山ビジョンナ会講演会（年1回）

3) 岡山大学眼科研究会（年2回） 川崎医大眼科研究会（年1回）

倉敷中央病院眼科臨床懇話会（年4回）

③ 会議 委員会（年10回以上）

(3) 耳鼻咽喉科部会

① 調査および研究事業

1) 新医療技術の普及に関する研究

2) 医事問題に関する研究と解説

3) 福祉医療に関する研究、活動

② 広報事業

1) 「耳の日」「鼻の日」等の行事の継続

2) 耳鼻咽喉科領域の啓発活動

③ 研究会および学術講演会等事業

1) 岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科教室、川崎医科大学耳鼻咽喉科教室及びその他の病院の協力を得て、概ね隔月に岡山県耳鼻咽喉科集談会を開催する。

2) 県内外講師を招聘して講演会を行う。

④ 専門医制度に関する事業

1) 岡山県耳鼻咽喉科集談会及び講演会は、日本耳鼻咽喉科学会が定める講習会並びに日医生涯教育講座の認定を受けて行うものとする。

⑤ 学会誌および図書等刊行事業

1) 耳鼻咽喉科部会の活動記録を発行する。

⑥ 社会保障に関する耳鼻咽喉科学的研究調査事業

1) 社会保険診療に関する疑義の検討。

2) 産業・環境保健活動についての普及。

3) 学校医活動の充実。

4) 耳鼻咽喉科未健診校への耳鼻咽喉科健診。

5) 1歳6カ月児・3歳児の聴覚健診。

6) 新生児聴覚健診と療育の充実。

⑦ 関連学術団体との協力事業

1) 日本耳鼻咽喉科学会・医会と密接な連携を保ち、地域における耳鼻咽喉科医療の推進に努める。

⑧ その他

- 1) 病診連携の中で体験学習の推進を図る。
- 2) 社会保険診療報酬の改正に対応して「点数表」の修正を行う。
- 3) 医療連携のためのメーリングリストの活用。

(4) 皮膚科部会

- ① 性病予防活動への協力…性病を含む性感染症（STI）の患者数調査を継続実施する。
- ② 文部科学省管轄の岡山県における「学校・地域保健連携推進事業」に参画する。
- ③ 日本臨床皮膚医会岡山県支部との協力
  - 1) 皮膚病と皮膚の健康について地域住民の啓蒙活動を行う。
  - 2) 皮膚科の立場から、保険医療制度の現状と将来について考える。
  - 3) 岡山県及び中国地域の皮膚科医を対象とした講演会の開催。
- ④ 皮膚難病ネットワークと協力して皮膚稀少難治性疾患の啓蒙活動を行う。
- ⑤ 学術講演会ほか従来からの事業はすべて継続する。

(5) 小児科部会

1. 小児科専門医制度に則した形式の学術講演会の開催
2. 乳幼児医療費公費補助の年齢引き上げの要請
3. 乳幼児検診、予防接種事業の円滑化、普及に協力
4. 全県の相互乗り入れ予防接種制度の継続と実績評価
5. 学校医部会主宰の学校保健事業の円滑な運営に協力
6. 岡山県母子保健評価事業及び同委員会への積極的参画
7. 岡山県結核・感染症サーベイランス事業に協力
8. 厚労省の委託による予防接種副反応モニタリング事業に協力
9. 育児相談、健康相談、健康セミナー等とその事後指導に協力
10. 少子化対策事業のうち医療、保健、福祉面での施策実施に協力
11. 産婦人科医、小児科医の連携事業であるプレネイタルビジット（出産前小児保健指導）の推進
12. 岡山県における新生児聴覚スクリーニング検査事業に協力
13. 地域の医師との協働による救急医療等の対応向上事業（小児救急地域医師研修事業）の開催
14. 各種研究会に協力
15. 岡山県の小・中・高校生における心電図解析事業への協力
16. 岡山県における小児救急医療電話相談事業に協力

(6) 産婦人科部会

1. 岡山県産婦人科専門医会の開催（年6回 奇数月）
2. 母体保護法指定医の研修と認定
3. 母体保護法指定医医療機関の認定と連携
4. 岡山県産婦人科医会との連携・協力
5. 岡山産婦人科学会との連携・協力

6. 日本産科婦人科学会専門医研修への協力

7. 母子保健全般に亘る研修

(7) 整形外科部会

① 研修会：年15回の開催

② 整形外科部会委員会：毎月第2水曜日開催

学校における運動器検診、医業類似行為問題、交通事故診療問題、保険審査等の問題など整形外科診療にかかわる諸問題について協議する。

③ 全国整形外科保険審査委員会、日本臨床整形学会の保険審査委員会、医療システム委員会、広報・福祉委員会、IT戦略委員会に担当委員を派遣し、保険医療問題についての討議に参加する。

④ ロコモティブシンドローム予防の啓発活動について協議する。

(8) 精神科部会

本年も、下記のような事業を行う。

① 総会の開催（年1回）

② 定例会の開催（年10回）

③ 精神科医会ニュースの発行及び会員向けメーリングリストの運営

④ 講演会の開催（年3回）

⑤ 関係学会及び研究会への協賛、協力

⑥ 学校精神保健への協力及び学校医・各嘱託医の推薦

⑦ 家庭裁判所委員会への協力

⑧ 児童・思春期問題に関する啓発、各機関との連携

⑨ 認知症高齢者に関する啓発、連携、協力

⑩ 産業精神保健のあり方についての検討

⑪ 精神科救急医療システムへの協力、一般救急との連携

⑫ 自殺予防対策への協力

⑬ 災害時の精神科救急医療体制（DPAT）への協力

⑭ 「日常生活自立支援事業」への協力

⑮ 広報活動の活性化

(9) 透析医部会

透析患者の長期・高齢化とともに合併症を伴った透析患者の増加により、医療的対応のみならず、介護・通院問題など地域ケア的対応の困難さが増してきている。透析患者の送迎問題は当部会とNPO法人岡山県腎臓病連絡協議会と連携し、岡山県のバックアップのもとに『岡山県福祉移送ネットワーク』や関連した市町村と引き続き具体的に協議を進めていくとともに、地域包括ケアシステムにも透析患者の通院・介護問題を提起していきたい。

また、毎年、事業計画として取り上げている適正で安全な透析を目指し、透析従事者の学術研修をはじめ、透析関連団体の支援、災害対策、会員相互の連携と親睦、関係団体との連携強化を図りながら部会活動を積極的に展開し、岡山県行政・NPO法人岡山県腎臓病連絡協議会・透析医部会の三者が一層の連携強化を図りながら問題解決にあたっていきたい。さらに、岡山



大学医学部寄付講座開設により、透析関連人材養成、透析医療、腎不全予防のためのCKD対策、腎移植推進事業にも全面的に協力したい。また、岡山県内で行われる透析関連学会への支援も行う。

なお、当部会が設立されて今年で20周年となるので、11月11日に記念式典・講演会を開催することとした。

以下具体的な活動内容を列記する。

• 会議/会合

1. 透析医部会委員会3回（5、9、1月）
2. 総会・懇親会（7月1日 アークホテル）
3. 三者懇談会（県行政・県腎協・透析医部会）（10月）
4. 施設防災責任者会議（11月）
5. 岡山県医師会透析医部会設立20周年記念式典・講演会（11月11日 ホテルグランヴィア岡山）
6. その他

• 研修講演会

1. 第18回岡山県医師会透析医部会学術講演会（7月15日 ホテルグランヴィア岡山）
2. 岡山アクセスセミナー2017（9月3日 三木記念ホール）

• 会議・出張関係

1. 第18回日本透析医会災害ネット会議（6月 横浜）
2. 第22回日本透析医会透析医療保険に関する懇談会（6月 横浜）
3. 第14回中国地区災害ネットワーク連絡会議（11月4日 広島）
4. 第4回岡山県透析保険医療懇談会（3月 アークホテル）

• 施設防災訓練

1. 第18回岡山県透析施設防災訓練
2. 日本透析医会主催の全国ネット防災訓練
3. 各施設の自主的防災訓練

• その他

1. 透析施設防災関連情報管理システムのバージョンアップ
2. 岡山県下の透析患者数調査（5月）
3. 関連学会の支援

(10) 脳神経外科部会

- ① 部会を年1回開催し、権威者を招聘して専門分野の研修を図る。
- ② 脳血管障害、頭部外傷等の救急医療面での会員、関係医療機関相互の連携と協力を推進し、脳卒中連携パスの普及と各地域の連携を図る。

(11) 内科部会

1. 平成29年度 岡山県内科医会総会（案）  
平成29年6月10日（土）  
場所 岡山プラザホテル

理事会 午後5時～5時30分

総会 午後5時30分～6時

記念講演 午後6時～7時30分

講師 ねりま健育会病院（大泉学園複合施設）H29.4開業

院長 酒向 正春 先生

テーマ未定

## 2. 日本臨床内科医会関係行事

- ① 29年度 日本臨床内科医会総会・役員会（東京第1ホテル）

29年4月15日 役員会

29年4月16日 総会・記念講演会

- ② 29年度日本臨床内科医会中国・四国ブロック会議（ホテルグランヴィア岡山）

29年7月2日 岡山県内科医会（当番県）

- ③ 第31回日本臨床内科医学会（大阪）

理事会・総会 29年10月7日

医学会 29年10月8～9日

## 3. 今後の研修会について

研修会が多すぎる。県北でも現在研修会が多くある。

県内科医会独自のカリキュラム作成が求められる。

予定 5月6日（土） 7月1日（土） 8月12日（土）

9月2日（土） 11月4日（土） 30年1月（土）江澤先生

2月 武田薬品共催研修会 3月24日（土）

テーマ：画像診断の進歩 ACP 緩和ケア（薬剤の使い方）

神経診断スキル フィジカルエグザミネーション（氏平先生）

医療保険

## 4. 「医療事故調査委員会」専門委員の推薦について（県医師会から依頼）

外部委員（岡大2名 日赤2名：循環器・麻酔科専門医含む）

総合診療の立場からご意見いただける内科専門医を1名ご推薦

注：清水事故調委員長からは内科専門医に絞ると人選が限られるので

内科：かかりつけ医の先生を依頼したい旨話があった。

内科医会から 栗井 佐知夫 先生を推薦する。

## II 目的別部会

### (1) 学校医部会

- ① 学校医部会研修会の拡大
- ② 学校保健（会・委員会）活動の充実
- ③ 学校突然死及び生活習慣病予防対策の推進
- ④ 学校相談医（精神科・小児科・産婦人科・皮膚科の各専門医）の参画推進
- ⑤ 学校精神保健の推進
- ⑥ 喫煙防止、薬物乱用防止、性教育の推進

⑦ 岡山県立学校等の結核対策委員会に協力

(2) 労災部会

① 労災診療に関する適切な情報提供を行う

1) 労災診療費請求に際して、請求漏れ・誤請求が発生すると診療費の支払い遅延等を起こしかねない。今年度も労働局・労災保険情報センター（RIC）本部と共同開催で「労災診療費算定実務研修会」を開催し、十分な理解を図りたい。

2) 「労災保険二次検診給付事業」の内容の周知を図る。

② 岡山労働局との連携の強化

引き続き、法に準拠した労働時間の遵守、職場における自殺予防・過重労働による健康被害防止等メンタルヘルス対策を行う。また、ストレスチェック制度の実施に伴う情報の提供を行う。

③ 労災保険情報センター（RIC）本部の周知を図る。

(3) 産業医部会

① 平成26年度より発足した産業保健総合支援事業制度は、岡山産業保健総合支援センター及び地域の窓口、いわゆる地域産業保健センターにより、従来の産業保健推進連絡所事業、メンタルヘルス対策支援事業、地域産業保健事業を継承した事業を一元的に推進している。本会執行部からは総合支援センターの所長職、運営主幹職を担当する人材2名が出向している。

② 従って、7地域産業保健センターは岡山産業保健総合支援センターの傘下となり活動を続けており、従って、間接的にこれらの事業推進を部会として引き続き支援していく。

③ 日医認定産業医制度に基づく産業医学の研鑽を、生涯研修並びに基礎研修の充実を留意しつつ中心的立場から多角的に実施する。本年度は9月23、24両日、4年振りとなる日医認定産業医制度基礎研修を開催する。更に本年度からはガイドラインに沿って「治療と職業生活の両立支援」対策を進めていく。

④ 岡山産業保健総合支援センター・地域産業保健センターとの連携・協力を得て、広範囲な産業保健活動の推進を図る。特にメンタルヘルス対策・過重労働対策・特定健診・保健指導等のスキルの向上に重点を置く。

⑤ 一昨年12月1日からは厚労省施策の改正安衛法に基づくストレスチェック制度の実施が50人以上の事業場で義務化され実施に入っている。昨年度に引き続き制度についての周知、研修会等を通じて実施に向けたスキル会得を支援していく。又、やむを得ず高ストレス者の選定、それに続く面接指導等の外部委託を余儀なくされる場合に対して積極的に支援していく。

⑥ 昨年度から新たに「治療と職業生活の両立支援」の推進が厚労省のガイドラインに沿って実施されている。現在、岡山大学病院、岡山労災病院に相談窓口が設置されているが、産業医活動の中で対応、推進していく。

⑦ 労働局・労働基準監督署との連携・協力により未選任事業場への認定産業医の斡旋や適正配置を推進していく。

⑧ 郡市等医師会との連携による地域格差に配慮した産業保健活動の活性化や研修事業の開

催を推進していく。

- ⑨ 労働基準協会及び各種事業者団体、更に労災病院との連携・協力による産業保健活動の展開や研修事業の開催を推進していく。

(4) スポーツ医部会

- ① スポーツ医部会の開催
- ② スポーツ医科学特別委員会等への協力
- ③ 日医健康スポーツ医認定再講習会を開催
- ④ スポーツ県民公開講座を開催する。

(5) 警察医部会

日本医師会が開催する「警察活動に協力する医師の部会」連絡協議会・学術大会へ参加し、日本医師会、関係省庁との情報共有等を図る。

また、本年度も、岡山県警察本部及び岡山県警察協力医会と密に連携し、死体検案等の警察活動に積極的に参加し、県民の安心、安全、公衆衛生の向上に努めるため、以下の事業を行う。

- ① 岡山県医師会警察医部会を定期的で開催し、警察協力医会との合同会議を行う。
- ② 警察協力医の養成、検案技術の向上を図る。
- ③ 岡山県警察協力医会事業の円滑な運営を図る。
- ④ 岡山県警察と連携し、検案、性犯罪被害者救済事業等の警察業務に協力する。
- ⑤ 災害発生時に岡山大学法医学教室、岡山県警察と協力し、死体検案業務を行う。
- ⑥ 岡山県警察協力医会をバックアップし、総会、特別講演会を開催する。
- ⑦ 警察協力医会の名簿を作成し、検案出務の参考とする。

(6) 勤務医部会

- ① 岡山県医師会とNPO法人岡山医師研修支援機構の主催により、平成29年4月から臨床研修を開始する研修医を対象に、医療倫理をテーマにしたオリエンテーションを行う。

「WELCOME研修医の会」

日時：平成29年4月6日（木）午後5時～

場所：岡山県医師会 三木記念ホール、第1会議室

日本医師会、岡山県医師会、郡市等医師会の研修医会費無料化に伴い、医師会への入会を促進する。

- ② 岡山県医師会勤務医部会委員会を開催し、勤務医の医師会活動の活性化を図る。
- ③ 平成29年度全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加

日時：平成29年10月21日（土）

場所：北海道

- ④ 平成29年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への出席

(7) 女医部会

- ① 女性医師による地域医療の推進と社会活動の活性化
- ② 勤務医部会との連携と発言力の強化
- ③ 女性医師相互の研鑽、親睦、社会的地位の向上

- ④ 女性医師支援事業（相談窓口事業・保育支援事業・医師の勤務環境改善事業）
- ⑤ 岡山大学MUSCATとの連携
- ⑥ 研修医レター「Good Doctor」の発行
- ⑦ 女医部会委員会、総会の開催  
（委員会…5月、12月開催予定、総会…8月に開催予定）
- ⑧ 医学生・研修医等をサポートするための会「Doctor's Career Café in OKAYAMA」を開催
- ⑨ 女医部会報の発行
- ⑩ 交流サイトの運営
- (8) 救急医療対策部会
  - ① 郡市等医師会救急担当理事・救急医療対策部会委員合同会議を開催。
  - ② 四師会における南海トラフ地震対策協議会を開催する。
  - ③ 岡山県総合防災訓練に参加する。
  - ④ 災害拠点病院の災害救護活動訓練に参加する。
  - ⑤ ドクターヘリ運行事業へ協力する。
  - ⑥ 救急医療研修会（BDLS、ADLS、ICLS、県民向けAED講習会）を開催する。
  - ⑦ 救急の日講演会を開催する。
  - ⑧ 岡山県メディカルコントロール協議会に参加する。
  - ⑨ 救急医学会、岡山救急医療研究会へ参加する。
  - ⑩ 作成委員会を立ち上げ災害医療救護手引書の改訂、事業継続計画のマニュアル（BCP）を作成する。
- (9) 有床診療所部会
  - ① 平成29年5月頃 岡山県有床診療所部会委員会
  - ② 平成29年7月1日（土）・2日（日）  
全国有床診療所連絡協議会総会（大分）
  - ③ 平成29年10月頃 岡山県有床診療所部会委員会  
岡山県有床診療所協議会総会・講演会
  - ④ 平成30年1月28日（日）  
岡山県有床診療所部会委員会  
全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会役員会  
〃 総会・講演会（岡山）
- (10) プライマリ・ケア部会
  - ① 部会委員会の開催（年3回）
  - ② 学術大会の開催（岡山プライマリ・ケア学会と共催）（1回）
  - ③ 研修会の開催（岡山プライマリ・ケア学会と共催）（4回）
  - ④ 岡山プライマリ・ケア学会との連携
  - ⑤ プライマリ・ケアに関わる保健・医療・福祉・介護関係者との連携
  - ⑥ 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会への参加（発表等）

岡山県医師会プライマリ・ケア部会は上記①～⑥の事業により、地域包括ケアシステムの構築、多職種連携の推進、プライマリ・ケア医のスキル向上等を目指し研修会を開催。

### 3. 地域医療・保健対策に関する事項

#### (1) 特定健診・特定保健指導、地方自治体の行う各種がん健診への協力

- ① 特定健診・特定保健指導の受診率の低迷が続いており、受診の勧奨を行い受診率の向上に努める。
- ② 被用者保険、医師国保については今年度も県医師会で集合契約を行う。
- ③ 支払決済の円滑化のための国保組合連合会、支払基金との連携を強化して遅滞なきよう対応していく。
- ④ 特定保健指導については引き続きスキルアップ研修会等により研鑽を深めていきたい。

#### (2) 生活習慣病対策

平成27年度から岡山県胃がん・大腸がん検診指針及び岡山県乳がん検診指針が改定され、平成28年度には岡山県胃がん・大腸がん検診指針に内視鏡が追加された。改定内容を周知し、胃がん・大腸がん・乳がんの予防及び早期発見の推進を図る。

- ① 肺がん読影研究会、胸部疾患診断研究会講演会
- ② 消化管精検研究会、消化管精検研究会講演会
- ③ 乳がん検診講習会

#### (3) 結核・感染症サーベイランス事業

県が行なう結核・感染症サーベイランス事業に協力

#### (4) かかりつけ医のための特定疾患・指定難病研修事業

#### (5) 肝炎対策事業

#### (6) かかりつけ医等の肝炎治療対応力向上研修事業

#### (7) かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業

#### (8) 糖尿病対策

- ① 糖尿病対策推進協議会の開催（4回程度）
- ② 研修会の開催（コメディカルを含む 糖尿病診療を行なう医師）  
受講証の発行、HPへの掲載、県民への公開
- ③ 各地の医師会の研修会
- ④ 糖尿病フォーラム（新しい知識など）
- ⑤ 連携体制の使用状況検討

#### (9) 相互乗り入れ予防接種事業

- ① 全県的相互乗り入れ予防接種精度の継続と実績評価
- ② 子ども予防接種週間実施

#### (10) 公害保健対策

- ① 岡山県公害健康被害認定審査会への協力
- ② 県公害補償等認定委員会への協力
- ③ 公害健康被害の補償等に関する法律による事業への協力

#### (11) 禁煙対策

- ① 禁煙対策委員会設置
- ② 県民公開講座の開催
- ③ 日本禁煙推進医師歯科医師連盟参加

(12) 指定医研修

- ・難病指定医研修
- ・小児慢性特定疾病指定医研修

(13) 水銀血圧計等回収事業

(14) 各種協議会・研究会

- ① 全国医師会共同利用施設等連絡協議会
- ② 日本医師会医療情報システム協議会
- ③ 卒後研修事業
- ④ その他各種協議会・研究会

4. 地域福祉対策

(1) 地域包括ケアの推進に関する事項

- ① 地域包括ケア部会委員会会議開催  
郡市等医師会との連携強化、郡市等医師会への支援  
関係団体と医師会の連携による全県下での地域包括ケアの推進
- ② 地域包括ケアコーディネーター配置（2017年度基金事業）  
地域包括ケアに関する窓口相談  
医療介護福祉連携による県民への支援  
県及び県内市町村行政と郡市等医師会との連携推進
- ③ 岡山地域医療構想・包括ケアシステム研究会（2017年度基金事業）  
岡山県内の地域医療構想の推進と地域包括ケアシステムの構築  
研究会開催、その他必要に応じて関連事業実施
- ④ 岡山県郡市等地域包括ケア推進協議会（2017年度基金事業）  
県内市町村行政と郡市等医師会の連携強化  
在宅医療介護連携推進事業への支援
- ⑤ かかりつけ医認定事業  
岡山県医師会認定かかりつけ医認定制度の推進、認定研修会開催（2017年度基金事業）  
日医かかりつけ医機能研修制度による研修会開催
- ⑥ 「医師のための介護体験実践講座」開催（2017年度基金事業）  
介護の理解を深めるための医師向けの体験講座
- ⑦ その他必要に応じて事業を実施

(2) 地域福祉活動に関する事項

- ① 県保健福祉部関係部署との協議
- ② 福祉行政への強力
- ③ 地域福祉に関する情報の収集と提供
- ④ 岡山県社会福祉協議会への参加

- ⑤ 商品化支援委員会及び福祉用具ワークショップへの参加
- (3) 認知症早期診断事業
  - ① かかりつけ医認知症対応力向上研修会
  - ② 認知症サポート医養成研修
  - ③ 認知症サポート医フォローアップ研修
- (4) 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修事業
- (5) 主治医意見書研修会
- (6) 幸福な長寿社会実現事業
- (7) 看護職員出向・交流研修事業
- 5. 学校保健対策・母子保健対策
  - (1) 学校保健対策
    - ① 郡市等医師会学校保健担当理事連絡協議会の開催
    - ② 全国学校保健・学校医大会への参加（三重県）
    - ③ 中国四国学校保健担当理事連絡協議会への出席（徳島県）
    - ④ 中国地区学校保健・学校医大会の開催（平成29年8月20日）
    - ⑤ 日本医師会で開催される学校保健講習会への参加
    - ⑥ 学校医部会活動の推進（研修会の開催）
    - ⑦ 学校心臓検診への全面的参画
    - ⑧ 学校突然死と小児生活習慣病予防への対策充実
    - ⑨ 学校保健に関与する会員の学校メンタルヘルスへの参加
    - ⑩ 学校検尿マニュアル研修会の開催
    - ⑪ 岡山県学校保健会への協力
    - ⑫ 第50回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会への参加（愛知県）
  - (2) 母子保健対策
    - ① 日本医師会で開催される母子保健講習会への参加
    - ② 家族計画・母体保護法指導者講習会への参加
    - ③ 岡山県医師会母体保護法指定医師審査会の開催
    - ③ 岡山県小児保健協会への協力
    - ④ 岡山県小児救急医師研修事業の開催
    - ⑤ その他母子保健対策
- 6. 救急・災害医療対策

南海トラフ巨大地震に備えて、岡山県、郡市等医師会、三師会と災害時の医療救護活動に関する協定を行っている。「JMATおかやま」の登録チームを拡大し、スキルの維持・向上に努めるためおかやまJMAT研修会で医療救護訓練（医師向け、ロジステック向け）を行う。

- ① 南海トラフ巨大地震を想定した、救急災害医療の充実を図るため郡市等医師会単位で医療コーディネーターの養成を行い、災害発生時には岡山県に協力し県民の安心、安全に寄与する。
- ② 医師、看護師等を対象に、ICLS研修会を継続して行う。



- ③ 医師、看護師、救命救急士等を対象に、BDLS、ADLSの研修を行う。
- ④ 県民に対してAEDとBSLの普及啓発に努める。
- ⑤ 岡山県メディカルコントロール協議会、DMAT運営会議等の災害医療行政に参加しプロフェッショナルオートノミーにより提言を行う。
- ⑥ 医療機関と消防・救急隊との連携を密にする。
- ⑦ 救急の日講演会を開催する（9月）。
- ⑧ ドクターヘリ運行調整委員会へ参加する。

## 7. 社会保障対策

世界に誇るわが国の国民皆保険制度を日本医師会とともに守ることは岡山県医師会の使命である。岡山県医師会社会保障部は、会員が社会保険制度に習熟し、療養担当規則に則った社会保険診療を行うために、医療保険制度及び介護保険制度の調査・研究を行い得られた情報を会員に伝達する。

(1) 医療保険制度改定による混乱を避けるため次のことを行う。

- ① 改定内容を周知し適切な保険診療が行えるよう、社会保険改定に関する情報を収集し会員に伝達する。
- ② 社会保険医療などに関する会員の疑義に適切に助言を行う。
- ③ 作成委員会を立ち上げ「診療報酬の手引き」を作成する。

(2) 調査・研究について

- ① 診療報酬・薬価基準の改定、介護保険改定等の医師会及び医師会員に及ぼす影響を検討し、必要に応じて医療問題研究会等を開催し医療問題を協議する。
- ② 日本医師会、厚生労働省から発せられる通達等の文書を解析し、必要に応じて「社会保障部だより」として会報に掲載する。

(3) 岡山県医師会・中国四国厚生局岡山事務所・岡山県との懇談会（三者懇談）

集団的個別指導後の個別指導の円滑な運営のため、岡山県医師会、中国四国厚生局、岡山県との協議の場を設け指導関連事項、社会保険診療に係る事項について定期的に協議する。

## 8. 日本医師会認定医療秘書養成事業

医療技術の進歩に伴い、医師が本来の医療活動に専念するため、それを補佐する専門的な医療事務の知識と最新の情報処理技能を持った医療秘書を養成することを目的に、就実大学に委託し、事業を行う。

- ① 日本医師会認定医療秘書養成に関する運営委員会の開催
- ② 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会への出席
- ③ 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会への出席

## 9. 医療勤務環境改善支援事業

県民が将来にわたり質の高い医療サービスを受けるためには、医療分野の勤務環境の改善により医療に携わる人材の定着、育成を図ることが不可欠であり、当直、夜勤、交代勤務等、厳しい勤務環境にある医師や看護職等が健康で安心して働くことのできる環境整備を行う必要がある。このため医療従事者の勤務環境の改善についての医療機関からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言等を行い、医療従事者の勤務環境の改善を応援する。

- ① 勤務環境改善講習会の開催（年3回）  
医師・看護職等のWLB（ワークライフバランス）推進ワークショップの開催等
- ② 専門アドバイザーの派遣（社会保険労務士の派遣を含む）
- ③ 調査事業（医療機関の課題等を把握するための意識調査等）
- ④ 医療勤務環境改善マネジメントシステム等の周知・啓発
- ⑤ 医療機関への出前講座
- ⑥ ホームページ・Facebookで最新の情報を更新していく。
- ⑦ 医師会主催の産業医研修会などで支援センターへの協力要請を行う
- ⑧ 医療勤務環境改善支援センターの講習会等でご講演をしていただいた医療機関の取り組み事例を中心とした報告書を冊子にして発行する。

## 〔Ⅱ〕 医療情報対策事業（公2）

### 1. 医療問題対策

#### (1) 中国四国医師会連合

- ① 中国四国医師会連合医療保険分科会の開催
- ② 中国四国医師会連合常任委員会の開催（6/24）
- ③ 中国四国医師会連合連絡会の開催（6/24、6/25）
- ④ 中国四国医師会連合総会への参加  
日時：平成29年9月30日（土）・10月1日（日）  
場所：徳島県
- ⑤ 中国四国医師会連合常任委員会・連絡会への参加（3月）
- ⑥ 中国四国医師会連合各種連絡協議会への参加

#### (2) 日本医師会

- ① 日本医師会代議員会へ出席
- ② 各種都道府県医師会連絡会議等への出席

#### (3) 医療従事者育成対策

- ① 医療従事者の育成に協力する
- ② 研修医の医師会加入促進
- ③ 高等学校看護連絡協議会を通じて、郡市等医師会の講義への応援と実習先としての協力を促す
- ④ 中高一貫教育の育成・充実に協力
- ⑤ 中・高校生及び学校関係者に対するPR
- ⑥ 医師会立養成施設存続に協力
- ⑦ 准看護師の卒後研修の実施（日医よりの要望）
- ⑧ 岡山県准看護師試験問題作成と試験への協力
- ⑨ 中四九医師会立看護学校協議会に出席して、岡山県に他県の情報を伝達する。

#### (4) 看護従事者対策

- ① 看護従事者の育成と確保に協力する。
- ② 離職防止、再就職推進に向けて労働条件の検討。医療勤務環境改善支援センターとしても協力する。
- ③ 岡山県看護協会との連携並びに看護職員確保対策連絡協議会委員としての協力
- ④ 無料職業紹介事業であるナースセンター、ナースバンクとの連携。有料職業紹介事業者の情報収集
- ⑤ 「看護の日」及び「看護週間」への協賛
- ⑥ 「看護就職フェア・看護進路ガイダンス」への協力

## 2. 広報活動に関する事項

- ① 会報発行：「視点」「会議報告」「生涯教育」「会員の声」「豆知識」「お知らせ」「理事会の報告」「生涯教育予定」等の充実を図りつつ、新しい情報も掲載していく。  
日医Libコーナーに会報をアップしたことを広報し、閲覧希望者の拡大普及に取り組む。
- ② ホームページで最新の情報を更新していく。
- ③ 県民公開講座の開催。
- ④ メディア、ポスターを通じて県民に健康・医療・福祉情報を提供する。
- ⑤ 各種講演会、研修会の当日出席できなかった方にその要旨を県医師会報とホームページに掲載する。
- ⑥ がん征圧事業の広報活動。
- ⑦ 山陽時事問題懇談会への出席。
- ⑧ OMA Letter・研修医レター「Good Doctor」・女医部会会報の発行。
- ⑨ FAX一斉送信やE-mailを利用した伝達と広報。
- ⑩ On-line生涯教育講座・eラーニング。
- ⑪ 郡市等医師会との懇談・意見交換
- ⑫ マスコミとの懇談
- ⑬ 医学生・研修医への広報 Welcome研修医の会
- ⑭ 看護師募集の広報協力（岡山県ナースセンター情報）

## 3. 医療情報システム対策に関する事項

- ① 医療IT化がもたらす課題の検討と文書管理整備等の基盤整備に務めながら、ORCAプロジェクトを推進し、会員医療機関である病院、診療所からの意見と要望をまとめ実地導入へ向けて展開する。
- ② 地域医療再生基金の中でITを活用する場合に、日医認証局（HPKI）や認証局を利用したセキュアな医療情報交換システム等に関して、会員のスキルアップのためのセミナー等を開催する。
- ③ モバイル等の最新機器の活用や導入による医療・介護現場での現況や情報を研修会等の開催を通じて広く会員にお知らせしていく。
- ④ 会員間の情報格差をなくすために岡山県医師会ホームページを介して、医師会、国、県からの情報を広く会員にお知らせする。
- ⑤ TV会議システムを利用した講演会や研修会によって、会員間の情報の共有化を図る。

⑥ 日医ITフェアの開催

4. 産業保健対策

- ① (独)労働者健康安全機構の推進する産業保健総合支援事業として従来の産業保健推進センター事業、メンタルヘルス対策支援事業、地域産業保健事業を労当機構の傘下である岡山産業保健総合支援センター及び窓口機関である7地域産業保健センターにより一元的に運営している。本会としては同総合支援センター所長と運営主幹業務に携って4年目を迎えるが、運営上表面化する諸課題の解決に協力し、円滑な事業運営を支援していく。
- ② 日医認定産業医制度基礎研修事業については、労働安全衛生法規則により指定法人機関である日本医師会並びに都道府県医師会、乃至産業医大主催での研修のみが認められている。本年度は4年振りに本会主催の基礎研修事業を9月に開催する。一方、生涯研修事業の促進をも引き続き充実を図っていく。
- ③ 職場におけるメンタルヘルス不調者が依然漸増している。一方で労働安全衛生法により従業員50人未満の小規模事業所にも長時間労働者に対する医師の面接指導が義務化されている。従って、これらに対処するため、メンタルヘルス研修会を開催する一方、職場改善ワークショップに関してグループ討議の開催等により産業医の資質の向上を図るとともに、メンタルヘルス不調者対策には精神科医との連携強化を推進する。
- ④ 一昨年12月より従業員50人以上の企業に於いては改正労働安全衛生法によりストレスチェック制度が義務化されており、既に対象企業は実施に移っている。従って、引き続き産業医に対して研修会の開催により制度の実施に向け支援していく。やむを得ず高ストレス者の選定、それに続く面接指導等の外部委託を余儀なくされる場合に対しても支援していく。
- ⑤ 昨年度から新たに「治療と職業生活の両立支援」の推進が厚労省のガイドラインに沿って実施されている。現在、岡山大学病院、岡山労災病院に相談窓口が設置されているが、産業医活動の中で対応、推進していく。
- ⑥ 建物解体作業等により今後も漸増が予想されるアスベスト健康被害対策については産業医の役割を十分に果たすべくレ線読影実地研修を含む勉強会の開催で診断技術の向上を図る。
- ⑦ 労働局・労働基準監督署の協力を得て、未選任事業場への認定産業医の委嘱と適正配置に努める。
- ⑧ 施行後8年目に入りを第2エポックの最終年を迎える特定健診・特定保健指導における産業医の役割見直しを図り、特に保健指導のスキルアップを目的とした研修等を図っていく。一方で漸次増加はしているが更なる受診率向上にも最大限寄与していく。

5. 労災・自賠責対策

(1) 岡山県損害保険医療連絡協議会

自賠責保険診療の問題点を協議する。

(2) 労災診療について

- ① 岡山労働局との連携を強化し、適切な労災診療に協力する。
- ② 「労災保険二次健診等給付事業」の更なる周知を図る。
- ③ 労災診療の主旨に則り下記各項に協力、周知する。

1) 法に準拠した労働時間の遵守

2) 職場における自殺予防、過重労働による健康被害防止等メンタルヘルス

6. 臨床検査精度管理事業

- (1) 県内医療機関内検査施設および商業検査所を対象とした検査精度管理サーベイの実施と、検査精度の向上に向けての指導、教育活動を行う。
- (2) 県精度管理専門委員会事業への協力  
上記委員会に参画し、一商業検査所の検査業務の指導監督を行う。

7. 関係機関連絡運営

- (1) 岡山県知事との懇談
- (2) 岡山県保健福祉部との懇談
- (3) 岡山県教育庁との懇談
- (4) 岡山労働局との懇談
- (5) 岡山県警察本部との懇談
- (6) 岡山弁護士会との懇談
- (7) 四師会との協議
- (8) その他関係機関との協議

8. 心電図自動解析事業

県内小中高校の心電図または心電心音図のコンピュータ解析を行い、光ディスクに保存、小中高校と一貫した記録・連絡体制と、学校における心臓疾患児の指導の確立を図る。

9. 特定感染症検査等事業

- ① 肝炎ウイルス検査事業
- ② 風しん抗体検査助成事業

10. 地域の医師との協働による救急医療等の対応向上事業（小児救急地域医師研修事業）

- (1) 小児救急医療等に関する研修を行い、地域の小児救急医療体制の確保を図る。
- (2) 児童虐待の早期発見と防止のために資質を高め、より良い多職種間・多施設間連携関係を図る。

### [Ⅲ] 公益関係機関助成事業（公3）

(1) 地区医師会助成

郡市等医師会主催の研修会・講演会に対する助成を行う。

(2) 医療従事者等関係団体助成

- ① 岡山県准看護師養成機関助成金
- ② 看護師養成協力助成金
- ③ 卒後研修費
- ④ 岡山県薬剤師会薬事情報センター協賛金
- ⑤ 岡山県健康づくり財団がん征圧大会助成金
- ⑥ 訪問看護ステーション協賛金

(3) 病院協会助成金

(4) 各科医学会助成金

[Ⅳ] 貸室事業（収1）

(1) 施設設備の維持管理

新築2年目の岡山県医師会館の施設設備の適切な維持管理に努める。

- ① 施設設備の保守管理業務、警備業務及び清掃業務をビル管理会社に委託し、適切に維持管理を行う。
- ② 無人となる夜間は、セキュリティ会社に警備を委託し万全を期す。
- ③ 管理運営については、入居団体との連携を図る。

(2) 貸出施設設備の利用

交通至便な立地やグレードの高い設備等の特徴をPRすることにより、三木記念ホールや各会議室などの貸出施設設備の利用促進に取り組む。

特に医療関係団体に対し、利用を働きかける。

(3) 駐車場の利用

医師会員用として整備した駐車場の管理運営

- ① 事前発行したICカードにより、医師会員の利用に供する。
- ② 駐車場の管理運営は、ビル管理会社に委託し、適切に行う。

[Ⅴ] 会員福祉対策事業（他1）

(1) 郡市等医師会助成金

郡市等医師会事務助成交付金

(2) 医療安全・医事紛争対策

① 医療安全対策

- ・医療安全対策に関する講演会を開催する。
- ・医療安全関連の講演会や研修会への参加。
- ・医療事故調査制度の支援団体構築事業。
- ・岡山県医療事故調査等支援団体連絡協議会の開催。
- ・医療事故調査制度について
  - 1) 制度発足の経緯
  - 2) 制度の周知
  - 3) 実際の対応方法
  - 4) 相談窓口の設置

② 医事紛争対策

- ・日本医師会及び顧問弁護士と協力し、医事紛争事案の早急な解決に努める。
- ・医事紛争関連の講演会や研修会への参加。
- ・医事紛争関連の講演会を開催する。

- 医事紛争ならびに苦情に対する事例の概要を各郡市等医師会担当者と共有し、防止、減少を目指す。
- ③ 医療苦情対策
  - 医療苦情の専任相談員の活動を支援し、指導する。
- (3) 自浄作用活性化委員会
  - 日本医師会主催のワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」への参加。
  - 「医の倫理綱領」を重んじ、会員の倫理、資質向上を目指す。
  - ① 会員のモラル向上に努め、又ピュアレビューを進めたい。
  - ② 各郡市等医師会にも、その目的に沿って独自の取り組みをお願いしたい。
- (4) 会員の表彰弔慰
- (5) 会員福祉

福祉部では、下記一覧の通り事業を行っており、今年度も各事業の適切な運営に努めるが、次の4点に特に重点をおいて活動したいと考える。

① グループ生命保険制度の加入率向上

グループ生命保険制度は、格安な保険料で死亡並びに高度障害保障が受けられる、会員にとって有益な保険であると考えているが、毎年加入率が漸減している状況であり、加入率の低下に伴い割引率が引き下げられるケースも懸念され憂慮している。

引き続き今年度も、グループ生命保険制度を会員に広報するとともに、引受保険会社とも連携を取りながら加入促進に努めたい。

② 保険団体契約制度

本会では現在9社と生命保険団体契約保険制度を結んでいる。団体契約になれば会員には生命保険料の割引があり、他方、本会はこの事務手数料を医師会の運営費に充てることができる。会員が現在契約している生命保険を団体扱いにしてもらうよう広報に努める。

また、同様の制度として、損害保険会社と集団扱損害保険制度（自動車保険・火災保険）を結んでおり広報に努める。

③ ドクターバンク事業

ドクターバンク事業は、平成26年度より岡山県地域医療推進センター・NPO法人岡山医師研修支援機構の3者で業務提携を結び、情報を共有している。今年度も、求人・求職者の登録促進、成立に努める。

また、平成27年度より医院継承事業を岡山県の補助事業として開始しており、今年度も、事業承継に関するセミナーを2回開催する。

④ 岡山医師協同組合との連携

平成28年から開始の集団扱損害保険制度（自動車保険・火災保険）、岡山医師協同組合の組合員サービスなど、会報等を通じて広報を行っていく。

**【福祉部事業一覧】**

\* 災害見舞金制度

\* 団体所得補償保険制度

(I a) 均一所得補償保険制度

( I b) 傷害死亡一時金支払制度

( II) 任意加入個人上乘せ所得補償保険制度

\* グループ生命保険制度

\* 各種融資制度

\* 生命保険団体契約制度

\* 集団扱損害保険制度

\* 医師賠償責任保険制度 (100万円医賠償)

\* ウォームハート (介護保険法または障害者総合支援法の指定事業者向け賠償責任保険)

\* 個人情報漏洩保険

\* ドクターバンク事業

\* 医院継承事業

\* 岡山医師協同組合との連携

\* 新規開業オリエンテーション

\* 法人診療所開設事務説明会

(6) 「医師資格証」の受付・審査業務

日本医師会電子認証センターで「医師資格証」を発行するために、本人確認や医師確認等の厳格な審査が必要とされた。そのため地域受付審査局 (LRA) を設置。日本医師会電子認証センターの最終審査を経て発行された「医師資格証」の対面受取の手続きを行う。

## [VI] 管理部門

(1) 理事会

毎週水曜日に開催

(2) 代議員会

4月 (臨時)、6月 (定例) の2回開催予定

(3) 郡市等医師会長協議会

年2回開催予定

(4) 福祉部役員会

年2回 (8月、12月) 開催予定

(5) 選挙管理委員会

(6) 岡山県医師会70周年記念祝賀会・新年祝賀会 (平成30年1月14日)

(7) 各種委員会・各種表彰受賞者合同祝賀会

平成29年12月開催予定

(8) その他